都留高ニュース

発行所
山梨県立
都留高等学校
大月市
大月２丁目11-20
編集
都留高校新聞同好会

取材・広告
希望の方は
新聞同好会
（木内）まで

３年ぶりに開会式、閉会式を実施

総体壮行会での応援団のエール＝4月28日体育館

４月２８日（金）に総体壮行会が行なわれました。総体は山梨県高等学校総合体育大会の略称で今年で75回です。学校得点を競って争い、都留高は昨年男子11位女子23位でした。

高校総体が開幕

第75回山梨県高等学校総合体育大会春季大会にむけて各部にアンケート取材をお願いしました。質問は以下の通りです。（5月2日時点）

質問項目
Q１．大会への意気込みを教えてください。
Q２．普段の練習で大切にしているところは？。
Q３．顧問の好きなところ（スゴイところ）を教えてください。

◇男子バトミントン部
①練習の成果を発揮し、自分たちのベストを尽くす！
②短い時間で効率よく練習するため、質と量の高い練習ができるようにしています。
③真面目で常にバトミントンを研究して、分かりやすく教えてくれるところです。

◇女子バトミントン部
①絶対にベスト8に入る。
②コミュニケーションをとることや効率良く練習することを意識しています。
③視野が広いところです！！

◇男子ハンドボール部
①関東大会出場を目標にし、一戦必勝を胸に1回戦目から気を抜かずにがんばります。
②顧問の大村美雪先生に指摘された点を改善しその上でこの練習はどんな所で必要になるのか考えつつ練習すること。
③大村美雪先生は、優しくてアイドル級にかわいくてとても面白い所がすき。横内拓海先生は、ノリが良くてめっちゃかっこよくて関わりやすいところが好き。

◇女子ハンドボール部
①新人戦で負けた吉田高校に勝って県ベスト4に入ること
②男女共に毎回の練習で円陣を組み、全体の士気や意識を高めメリハリのある質の高い練習を目指している。
③大村美雪先生は部員全員をマイクロバスに乗せ、熱心な指導でどこまでも連れてってくださり、パワフル・エネルギッシュな都留高のアイドル。横内拓海先生は生徒に混ざり全力でプレーをし、生徒以上に声を出して励ましてくださり、ハンド部の癒し。おふたりの先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

◇男子バスケットボール部
①今までの練習の成果を出し相手に1点でも多く取れるようにする。
②きつい時もみんなで声を出し、個人の技術の向上を目指す！
3優しくて、的確なアドバイスをしてくれるところです。

◇女子バスケットボール部
①都留高女子バスケットボール部でまだ関東大会に出場したという歴史がないので関東大会出場という目標を達成したい
②1つ1つの練習の意味を考えること。試合と同じように練習すること。
③　顧問の村松先生はたくさん練習試合を組んでくれてたくさんの経験をさせてくれるところ。副顧問の志村先生はいつも優しくかわいい笑顔で見守って下さるところ。

◇サッカー部
①ベスト8を目標にチーム一丸となって戦っていきたい
②常に本番を意識して全力で取り組んでいる。　コミュニケーションをとり、試合で上手く連携をとれるようにしている
③松尾先生と駒田先生ともに１０年をこえる勤務年数なのがすごい！男らしい駒田先生!ギターかっけー松尾先生！

◇陸上部
①一人一人目標が異なるのでそれを実現できるように頑張りたい！
②質の高い練習をすること。
③榎本先生を信じて練習していると自ずと結果が出るところ。

◇男子卓球部
①新人戦では悔しい思いをしたので、今大会でリベンジを果たし関東大会を勝ち取りたいです。
②良い雰囲気で集中して練習に取り組むことを意識しています。
③卓球部全体を温かく見守ってくれるところです！！

◇女子卓球部
①一戦一戦をしっかりと勝ち抜き、関東大会に出場できるようにしたいです。
②多くの人と打てるように基本練習をみんなで行い、チームワークを高められるようにコミュニケーションを大切にしています。
③試合終わりの罰ゲームに一緒に参加してくれるところです！！

◇ワンダーフォーゲル部
①３年生は最後の大会なので満足のいく結果が出せるように頑張りたい！
②とにかく体力をつけること。
③山に関しての知識が多くあり、厳しいけど面白いところです！

◇女子バレーボール部
①ボールを全員で追いかけ、全員で繋げ、全員で返す、「全員バレー」を繰り広げ、ベスト8という目標を達成する。
②コミュニケーションです。技術も大切だけど、バレーボールは、コート内全員でボールを繋ぎ、点を取り合う競技なので、コミュニケーションを大切にしながら、チーム全体が上達できるよう、練習を行っています。
③今川先生は、私達と“７歳しか変わらず”、ノリが良いので、気軽に相談できるところです！また、ハンドボールで世代別日本代表に選ばれたこともあるスポーツウーマンで、的確なアドバイスもくれます。小宮先生は、写真を趣味としていて、私達の格好良いプレー姿を撮ってくれるところです！

◇男ソフトテニス部
①体戦ベスト8目指して頑張ります！
②どのようにプレーすれば勝てるかを考え、基礎的な練習も一球一球こだわることです。
③くしゃみが大きくて、声が大きいくてイケメン！そして家族思いで誰にでも愛が強いところです！

◇女ソフトテニス部
①3年生にとっては最後の大会なので一戦でも多く勝って悔いなくおわれるようにする！
②声を掛け合い楽しむこと！
③家族思いのところなど全部です！

◇水泳部
①男子総合優勝に向けて頑張ります！！
②全員で声を出して部活内の雰囲気を良くし、辛い練習も乗り越えています。
③水泳に対して勉強熱心で生徒との距離が近いところです。

◇空手部
①まずは自分たちが練習してきた技を全て出しきれるように演武したいです。そして関東総体の切符を手に入れるように頑張ります！
②練習なので失敗を恐れず何回もチャレンジする様に心がけてます。
③常に体調や安全を気遣ってくださるところです。

自学進取

都留高探究プロジェクト・通称「つる探」が始まった。様々な研究が期待されるが、民俗学と地域の関連としては「桃太郎伝説」と地域おこしの関係が気にかかる。桃太郎の話は様々な地域が起源としているが、芥川龍之介の桃太郎は趣が違うという。「桃太郎」は「おじいさんやおばあさんを失望させ、無情にも鬼たちを虐殺したうえ、道理を語らせば意味不明。サイコパスのような人格」（松岡圭祐『新人作家杉浦李奈の推論』）として記されている。専門家によれば侵略者として当時の日本の帝国主義による植民地政策を重ね合わせているのだという。最後は「ああ、未来の天才はまだそれらの実の中に何人とも知らず眠っている。大正十三年六月」という文で終わっており意味深い。さて、昔話といえば過去に「かぐや姫」と「浦島太郎」は話の根幹が同じであるという星野之宣著漫画『宗像教授シリーズ』（小学館）を紹介したことがある。要は時間の概念が同じだというのである。その『宗像教授世界編』の連載が再スタートした。一般には歴史学者からは批判される内容も漫画にして読むと面白く想像力を豊かにしてくれる。今後の展開に期待したい。都留高生の皆さんも想像力を働かせ、無茶だと思われる研究も案外役に立つ研究になるかもしれない。「つる探」での研究の成果を期待する（顧問）

シリーズー都留高新聞の歴史⑧

70年前の総体は

昭和三十年六月二十日発行の都留高新聞には「第7回總合体育大会終了す」という見出しとともに次のリード文が続く。「第7回県下総合体育大会は五月四日、五日県営総合グランドを中心に引続きの好天に恵まれ各競技二千五百人の選手は、上々のコンディションに各校応援の声に応えて熱戦を繰りひろげ若人の意気と力を見せた。本校は陸上競技に於いて連続優勝を勝ち得なかったが、円盤投に於いて小俣孝雄君の大会新記録35㍍10で四年ぶりに33㍍15の記録を破り第一位となった。又初段五人を持つ柔道部は去年に続く優秀な成績で決勝に進み、本校と日川の間で激しい優勝争いが行われた結果、見事日川の追撃を退けつつ第7回目の優勝を成し遂げその健闘をたたえられた。男女とも全く振わず男子総合得点は十七校中の九位、女子は十九校中の第十一にとどまった。」

次に見出しだけをピックアップすると「陸上四年ぶり大会新記録円盤投げ三十五米一〇小俣孝雄君」「野球第三位獲得」「接戦惜敗ハンドボール」「バレー女子関東大会出場権獲得」「優勝関東大会出場権獲得練習の成果一００パーセント柔道」。昔も都留高生は頑張っていたようである。

都留高新聞
第七回 總合体育大会終了す
上陸 四年ぶりで大會新記録 円盤投三五米一〇 小俣孝雄君
バレー 女子関東大会出場権獲得
優勝 関東大会出場権獲得 練習の成果一〇〇パーセント
柔道
野球 第三位獲得
接戦惜敗 ハンドボール
就職試験メモ 寄せ集め帳
呉服と広巾服地の店 塩澤分店
志村靴店
田中衣料店

ここは記事が消えていました。

今、注目の人　坂本哲郎先生

坂本哲郎先生

４月から新しく数学の先生として都留高校に来られた坂本先生にお話を伺いました。

Q１、都留高校の印象はどうですか？

ー都留高校に来てから、２、３年生がすれ違うときに百発百中、自分から挨拶してくれました。それが気持ちよかったです。１年生は本当にいい生徒ばかりで、指示をしっかり聞いてその通りに動いてくれます。すばらしい人たちだなと思いました。

Q２、都留高校で楽しみなことはなんですか？

ーやっぱり若鶴祭が楽しみです。みんなが協力していろんなものを創ると思うんです。一生懸命にやってそういうものが仕上がったとき、こんなにすごいものができたというのを見るのが楽しみですね。あと、学校全体でみると、３年生に受験をがんばってほしいです。

Q３、山梨県で好きな場所はどこですか？

ー最近清里に行くことが多いかな。清里テラスとかが好きです。冬はスキー場で、夏は上から見下ろすような場所です。スキーはやらないです（笑）。

Q４、先生の趣味はなんですか？

ー高校時代からバンドをやっています。本業はボーカルです。自分たちが作った曲を演奏するのはやっぱり気持ちいいし、それを聞いている人が盛り上がってくれるのがすごく嬉しいです。コロナ前までは池袋や渋谷のライブハウス、埼玉の市の七夕祭りで演奏していました。好きなバンドはBOØWY（ボウイ）です。

Q５、数学の好きな単元やコツはありますか？

ー微分・積分です。苦労すると思いますけど。俺は数学が好き。変わり者かもしれません（笑）。数学のコツはやっぱり、楽しむことと、簡単にあきらめないことかな。粘り強さですね。お話してくれている際、こちらがメモを取り終わるまで待ってくださったり、BOØWY（ボウイ）のつづりを教えてくださったりなど、とてもあたたかく接していただきました。これからよろしくお願いします！　（1年初取材）

２０４５年問題

ＡＩについて調べていたら、こんな言葉が目に留まった。2045年問題とは、人工知能が人類に代わって文明の主役になるその転換点を意味しているそうだ。今回はこの2045年問題から、これからの私たちに必要な事は何なのかを考えてみようと思う。

高度化した人工知能の怖さは、人間の仕事を奪うのみならず心も奪ってしまい、最終的に人間を支配してしまう事だと専門家は言う。たしかに、私たちの身近にあるＳＮＳではＡＩが自分自身の興味があるものを把握して自動的におすすめに表示するという仕組みができている。大袈裟かもしれないが、私たちは手の中にあるスマホによって既にＡＩに支配されているのだ。

『ＳＮＳは社会生活におけるジャンクフードです。高カロリーなのに栄養がない。若者には対面交流の大切さを、もっと知って欲しい。』これはハーバード大教授がネット社会に生きる若者に向けた言葉だ。私は、ＡＩと共に生きていくこれからの社会にも同じことが言えると思う。その人の考えをその人の声と言葉で聞き、表情で感じる。これは絶対にＡＩからは感じることができない、対人間だからこそ得られる気持ちだと私は確信している。人と関わり会話をし、心の底から楽しいと思える瞬間を過ごす事は人間である私達にしかできない事だ。この瞬間を相手と共有できる限り、まだまだＡＩに人間は超えられないと信じている。（竹）

都留高文芸欄

都留高はこれまで数々の文芸作品を生み出してきました。３月号から、その才能を活かすべく今後、作品を都留高ニュースで掲載しています。俳句、短歌、詩、短いエッセイなど、どしどし顧問の木内へチャット等でお寄せください。今回も４月18日読売新聞全国版にて俵万智さんより評をいただいた老川歌人の短歌を中心に掲載します。

老川歌人作「まずこれを愛と仮定してみましょう
福神漬けを多めにあげる」「読売新聞掲載作品」
「将来の夢は何かと聞かれたら、職業以外で答えたいです」
「わたくしはごみ箱にごみが捨てられない
ですが左折がとても丁寧」
「疲れたし、赤ちゃんコアラの木登りのおしりを支えて生きていきたい」
「ちょっとだけ引力を持つ二丁目のカーブミラーに映るカルピス」
「『不可能』の語はないものの『できるけど疲れる』ことが載っている辞書」
「逃げ込める場所があるから生きられる
帰ってこよう今日も明日も」
☆最後は生徒さんからいただいた俳句です。
「ローファーの　横の花びらに　励まされ」（Ｓ）